

# 第17期 「京都教師塾」

令和4年10月29日

塾生通信

## 学びの広場

October

京都教師塾通信

No.2

京都市教育委員会 教員養成支援室

### 第17期京都教師塾 入塾式

第17期京都教師塾は入塾者224名でスタートしました。10月15日に行った入塾式は171名の塾生が、また19日に行った補講には29名の塾生が参加しました。緊張した様子も見られましたが、教師になる夢をかなえるために頑張っていこうという意欲や意気込みが伝わってきました。

希望や期待だけではなく、心の中には、不安や迷いもあるかと思います。しかし、皆さんは一步前に踏み出しました。卒塾を迎える9ヶ月後には、より成長した自分自身に出会えるように、学びを積み重ねていきましょう。教師塾スタッフ一同、皆さんの学びを心から応援しています。



補講による入塾式

### 第1回京都市教育学講座 荒瀬 克己 指導部顧問 「教師に求めるもの ～京都教師塾開講にあたって～」

入塾式に続いて、京都市教育学講座がスタートしました。荒瀬先生は、自らの教師としての歩みについて語られた上で、今の社会に求められる教師の姿について話されました。

子どもをはじめとする人の気持ちは「わからない」ということを素直に認めた上で、だからこそ、教師はコミュニケーションの大切さを自覚し、幅広い視座をもって学び続けなければならないということ、関連文献の紹介も交えながら説かれました。また、子どもの豊かな学びを創出することができる教師になるために、学習指導要領や「令和の日本型教育」に関する中央教育審議会の答申にもふれながら、これからの学校教育は、指導者が主導する学習から、子どもが主体的に学び方を身につけ、自ら学び続けることができる力を育成する学習へと、その方向性を転換する必要があるということを知りやすく解説されました。

初めての分散会では、「講義からの学び・学校現場で取り組みたいこと」「今の自分の課題」をテーマに、グループごとで協議しました。現代を生きる子どもを育成するため、どのような教師像を目指すのか、教師塾で何を学びたいのか等について、初めてにも関わらず、活発に話し合う様子が見られました。また、レポート集には、講義や協議を通じて学びが深まったという実感について書く塾生も多くいました。教師を目指す上で不安もあるかもしれませんが、経験豊富なグループアドバイザーの先生方、同じ志をもつ心強い仲間と一緒に、考え続けていきましょう。

1組



2組





このコーナーでは、「レポート集」に綴られたすばらしい学びの1ページを紹介します。ぜひ、仲間の学びにふれてみてください。

3組



## 第1回京都市教育学講座【講義】

### 「教師に求めるもの～京都教師塾開講にあたって～」を受講して

今回の講義を通して、経験が余裕につながり、教師が余裕をもつことで子どもと向き合えるということを学んだ。この教師の余裕について分散会で話し合った中で、余裕をもつためには様々な経験を積むことが大切であると考えた。経験を積むことで自分自身も一度体験したことがあるという心の余裕につながるだけでなく、その経験から得た新たな視点を自分の中にもつことができる。このように経験を積むことで、自分の中に多様な視点をもち、多様な視点から子どもたちに向き合っていく必要があると考える。また、多様な視点の中の一つに子どもたちの視点を常にもち続けることも重要だと学んだ。教材研究や模擬授業を通して、教師は、学習内容に深い理解がある授業であっても、子どもたちにとっては初めて出会う学びであるということに常に意識し、教師が教えるということを重視するのではなく、子どもたちが何を学ぶか、どう学ぶかを重視する、教師中心から子ども中心の授業に変えることが大切だと考えた。

これらの学びを踏まえて、自分自身がまず余裕をもつことができるように経験を積んでいきたい。また、経験を積む上で新たな環境に挑戦していく勇気をもつことや、その経験に必要な知識を身につけ、新たな環境での挑戦を自分自身の中に学びとして取り込んでいけるように努力していきたい。

～塾生のレポート集より～

入塾おめでとうございます。自分の意思で入塾されたその決意を忘れず大切に最後までやり切ってください。グループアドバイザーの先生と一緒に応援、サポートをしていきます。教師塾のことだけでなく、何か質問や迷い等があれば後回しにしないで声をかけてください。また、このレポートに書いてもいいです。「新たな環境」となるこの教師塾でいろいろな立場、考えをもっている人達と出会い、自分の学びを広げていけますように「勇気」をお忘れなく。「知識」はコツコツ自分の力で自分の時間で身につけていけますように。

～レポートへのコメントより～



4組



5組



6組



7組



8組



子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で  
「**学びの力で社会を良くしよう!**」を実践しましょう!

